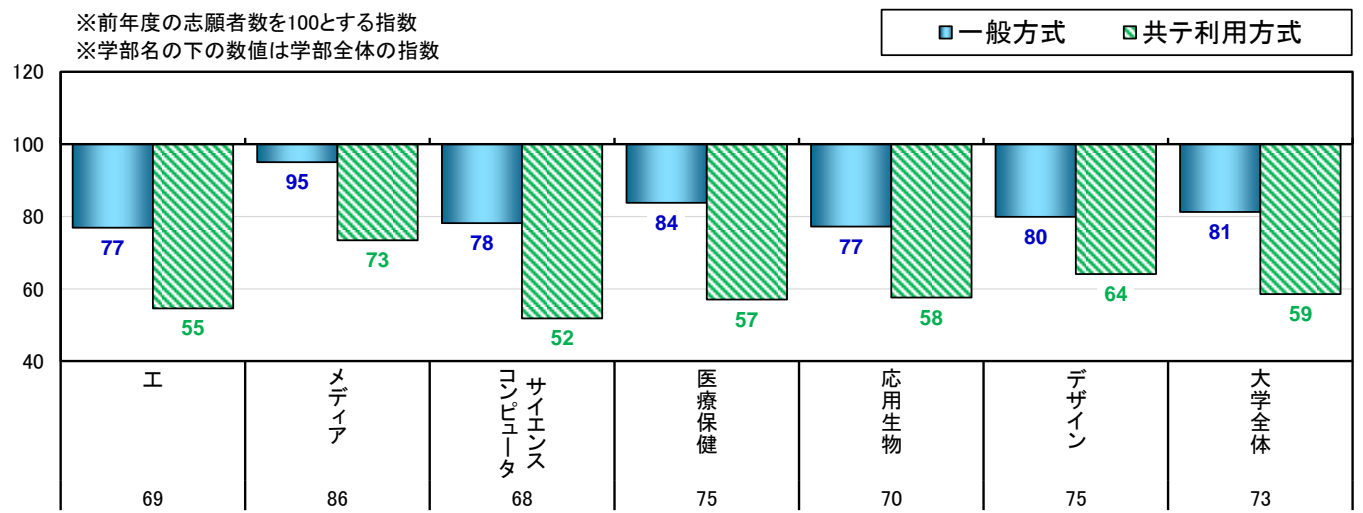


2021 年度入試状況分析【私立大】

東京工科大：一般は反動で、共テ方式は科目負担増で大幅減少 一般：-2,400人 共テ：-3,078人



入試変更点

学科改組：医療保健(理学療法)、(作業療法)
→医療保健(リハビリテーション/理学療法)、(リハビリテーション/作業療法)、(リハビリテーション/言語聴覚)

選抜方法：〈セ・前期2科目型〉、〈セ・前期3科目型〉、〈セ・前期4科目型〉→〈共テ・前期3科目型〉、〈共テ・前期4科目型〉
〈セ・後期2科目型〉→〈共テ・後期3科目型〉

募集人員：医療保険(看護)…〈一般・奨学生〉7人→5人、〈一般・A日程〉32人→21人、
〈一般・B日程〉7人→5人、〈共テ・前期〉24人→16人
工(機械工)…〈一般・A日程〉22人→20人、〈一般・B日程〉6人→5人、
〈共テ・前期〉32人→26人、〈共テ・後期〉4人→3人
(電気電子工)…〈一般・A日程〉22人→20人、〈一般・B日程〉6人→5人、
〈共テ・前期〉32人→26人、〈共テ・後期〉4人→3人
(応用化学)…〈一般・A日程〉22人→18人、〈一般・B日程〉5人→4人、
〈共テ・前期〉29人→21人、〈共テ・後期〉3人→2人
デザイン(デザイン/視覚デザイン)…〈一般・A日程〉21人→25人、〈共テ・前期〉21人→23人
(デザイン/工業デザイン)…〈一般・A日程〉13人→17人

入試科目：全学部…〈共テ〉：英語(筆記)or{英語(筆記)+英語(リスニング) ※高得点採用
→英語(リーディング)+英語(リスニング) ※リスニングが選択から必須へ
工(機械工)、工(電気電子工)、コンピュータサイエンス
…〈一般〉：{(国 or 数 or 理 or 外)→3}→数+理+外 ※国を除外、数、理、外は必須
…〈共テ・前期3教科型〉：{(国 or 歴公 or 数 or 理 or 外)→3}→数2+理+(国 or 外)
…〈共テ・前期3教科+1科目型〉：{(国 or 歴公 or 数 or 理 or 外)→4}→数2+理+外+(国 or 理) ※選択の理は必須以外の科目
工(応用化学)、応用生物
…〈共テ・前期3教科型〉：{(国 or 歴公 or 数 or 理 or 外)→3}→{(国 or 数 or 理 or 外)→3} ※選択から歴公除外
…〈共テ・前期4教科型〉：{(国 or 歴公 or 数 or 理 or 外)→4}→国+数+理+外 ※選択から歴公除外

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、前年度大幅増加の反動で、5,478人(73)の大幅減少。学部別では、メディア(86)が減少、その他の5学部はいずれも大幅減少。方式別では、一般方式(81)は6年ぶりの大幅減少。日程別では、〈B日程〉(57)が最も減少率が高かった。共通テスト利用方式(59)は、2教科型廃止による科目負担増の影響で大幅減少。日程別では、〈前期〉(60)は大幅減少、〈後期〉(39)は激減。

<一般方式>

- 工(77)は、学部を再設置した2015年度以降、5年連続増加した反動で大幅減少。学科別では、3学科全てが大幅減少。
- メディア(95)は、4年連続増加の反動は小さく、やや減少に留まった。
- コンピュータサイエンス(78)は、4年連続増加の反動で減少率が20%以上の大幅減少。専攻別では、2専攻とも大幅減少。
- 医療保健(84)は、前年度増加の反動で大幅減少。新設の(リハビリテーション/言語聴覚)を除いても2,376人(79)の大幅減少。学科・専攻別では、(リハビリテーション/作業療法)(68)、(リハビリテーション/理学療法)(74)はいずれも大幅減少、(臨床検査)(87)は減少、(臨床工)(93)はやや減少だが3年連続減少。(看護)(74)も大幅減少だが、募集人員減少(前年度募集人員対比指数67)のため、志願倍率は16.4倍→18.1倍へアップ。
- 応用生物(77)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。専攻別では、(応用生物/生命科学・医薬品)(77)、(応用生物/食品・化粧品)(78)ともに大幅減少。
- デザイン(80)は、前年度倍増以上の激増の反動で大幅減少。専攻別では、(デザイン/工業デザイン)(79)、(デザイン/視覚デザイン)(81)ともに大幅減少。

<共通テスト利用方式>

- 工(55)は、大幅減少。学部を再設置した2015年度以降、初めて志願者数が1,000人を下回った。日程別では、〈後期〉(29)が激減。
- メディア(73)は、大幅減少。日程別では、〈前期〉(73)、後期(81)といずれも大幅減少。

2021 年度入試状況分析【私立大】

- コンピュータサイエンス(52)は、科目負担増に加えて、前年度増加率70%近い大幅増加の反動も加わり、ほぼ半減。専攻別では、2専攻とも大幅減少で、志願者数は2年ぶりに1,000人を下回った。日程別では<後期>(33)は前年度の3分の1。
- 医療保健(57)は、<前期>のみの募集だが、大幅減少。既存の学科・専攻はいずれも大幅減少。新設の(リハビリテーション/言語聴覚)は640人の志願者数だったが、これを除いた既存の学科・専攻のみの合計では(56)とさらに減少率がアップ。
- 応用生物(58)は、減少率40%以上の大幅減少。専攻別では、2専攻とも大幅減少。日程別では、特に<後期>(37)が激減。
- デザイン(64)は、大幅減少。専攻別では、2専攻とも大幅減少。日程別では、特に<後期>(45)は半減以下。